

2024年8月9日

東急不動産株式会社
ニセコ東急リゾート株式会社
東急リゾーツ&ステイ株式会社

「Value up NISEKO 2030」プロジェクト第3弾 ニセコ東急 グラン・ヒラフにおいて、キング第3リフトを 6人乗りチェアリフトへリニューアル

東急不動産株式会社（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：星野 浩明）とニセコ東急リゾート株式会社（本社：北海道虻田郡、代表取締役社長：平子 雄一）、東急リゾーツ&ステイ株式会社（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：栗辻 稔泰）は、「Value up NISEKO 2030」プロジェクト第3弾の取り組みとして、国際的マウンテンリゾートとして更なる輸送力向上・利便性向上を目指し、ニセコ東急 グラン・ヒラフにおいて、2025年12月を目途に6人乗りチェアリフトの導入を行うことを決定しましたのでお知らせいたします。



新6人乗りチェアリフト（イメージ）

■リフト更新の背景

ニセコ東急 グラン・ヒラフでは、世界各国から「JAPOW（Japan+Powder+Snowの造語）」を求めたお客様が増加し中腹でのリフト待ちが目立っていたこと、またヒラフゴンドラからの流入動線を見直したことにより、2016年にキング第3リフトを4人乗りの高速リフトに更新いたしました。しかしながら、2023年～2024年シーズンは過去最多となる来場者数を記録するなど、来場者は年々増加傾向にあるほか、2024年12月に開業を予定している10人乗り「新ゴンドラ」により、一層中腹への来場者が増加するものと見込んでおります。これに対し、さらなる輸送力の強化としてキング第3リフトを6人乗り高速リフトに架け替え、混雑緩和とお客様満足度の向上を目指してまいります。なお、既存のキング第3リフトの搬器や電気設備などは、ニセコ東急 グラン・ヒラフ内の他リフト更新に再利用することを予定しております。

■最新型のシートヒーター付き 6 人乗りリフトへ更新

リニューアルされるキング第 3 リフトは、4 人乗りから 6 人乗りのフード付きチェアリフトに生まれ変わり、ニセコ東急 グラン・ヒラフのチェアリフトで初めてシートヒーター付きの座面となります。フードによる乗車中の耐風性とあわせ、寒さを緩和した快適な乗車時間をご提供します。また、輸送力を現行から 1 時間あたり 600 名増員することにより混雑緩和が見込まれます。併せて、リフト乗り場の床面にはローディングカーペットを採用いたします。リフト乗り場の床がコンベヤーのようにゆっくり動き、乗車タイミングを補助することで、小さなお子様や初心者も安心してご乗車いただけるようになります。

なお、来春より「キング第 3 リフト」の工事着工を予定しているため、2024-2025 ウィンターシーズンの営業につきましては 2025 年 3 月 31 日（月）までといたします。



新 6 人乗りチェアリフト（イメージ）

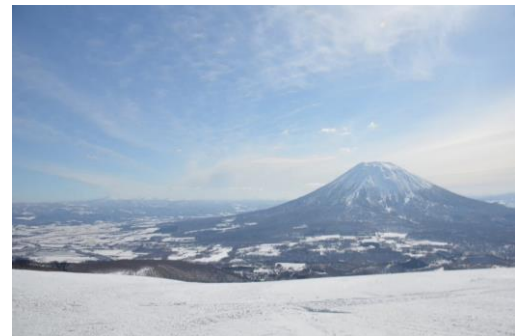


現行のキング第 3 リフト

■「ニセコ東急 グラン・ヒラフ」施設概要

「ニセコ東急 グラン・ヒラフ」は 22 のバリエーション豊かなコースを持ち、日本百名山にも数えられる羊蹄山を眼前に望みながらの滑走が楽しめるスキー場です。その豊富な雪量とパウダースノーと呼ばれる雪質は、国内外問わず、多くのスキーヤー・スノーボーダーを魅了しています。

<https://www.grand-hirafu.jp/>



ゲレンデから羊蹄山を望む

2024-2025 ウィンターシーズン

営業期間：2024 年 11 月 30 日（土）オープン予定 ～ 2025 年 3 月 31 日（月）

営業時間：8：30～16：30 ※ナイター期間は 19：00 まで

（ナイター期間 2024 年 12 月 14 日（土）～2025 年 3 月 23 日（日））

所在地：〒044-0080 倶知安町ニセコひらふ 1 条 2 丁目 9 番 1 号

交通：車|札幌より国道 230 号線経由で約 2 時間 10 分

新千歳空港より国道 276 号線経由で約 2 時間 10 分

鉄道|札幌駅～倶知安駅（小樽経由）、倶知安駅よりタクシー又はバス 約 20 分

主要施設：ゲレンデ [標高]260m～1,200m [標高差]940m [コース数]22 [面積]135.3ha

[最長滑走距離]約 5,300m [最大斜度]40° [平均斜度]15°

[構成]初級 45% 中級 28% 上級 27%

リフト・ゴンドラ [ゴンドラ]2 本 [クワッド]2 本 [ペア]6 本 [シングル]1 本

■東急不動産が進める「Value up NISEKO 2030」について

2030年に向け持続可能な発展を目指すリゾート、選ばれ続けるデスティネーションとして、世界に通用する「NISEKO」ブランドを行政・地元企業・地域の方々と連携して、課題解決やエリアの活性化を企図したまちづくりプロジェクトです。2022年10月に北海道倶知安町と「スキーの町宣言50周年を契機とするオールシーズン型国際リゾートの形成に関する包括連携協定」を締結し、スマートリゾート推進のほか、スキー場の索道更新などのハード面整備だけでなく、オールシーズン化に向けた施策などソフト面の取組みも地域連携を強化して取り組んで参ります。プロジェクト第1弾はニセコで最も輸送実績のあるリフトの架け替えを決定し、第2弾では1986年の開業以来、スキー場の中核ホテルとして地域の皆様をはじめ多くのお客様にご利用いただいた「ホテルニセコアルペン」の建替プロジェクトを推進中です。ソフト面の取組みとして、グリーンシーズン活性化に向けた取組みの他、「ファーストトラック」の権利を付した国内初のスキーNFT「Niseko Powder Token2.0」の実証実験や積雪を利用した発電事業の社会実装実験、スキーバレーサービスの試験運用を実施しました。今後も複数の取組みを推進してまいります。